

Subject	Problem/Project-Based Learning Seminar A
Day/Period/Place	Fall Semester Thu 3 川北キャンパスA306
Categories	General Education Subjects - Expansion Subjects-
Credit(s)	2
Object	全
Instructor (Position)	林 雅子 所属:高度教養教育・学生支援機構
Term	2/4/6/8セメスター
Course Numbering	ZDG-GLB807J
Language Used in Course	Japanese

Class Subject	【展開ゼミ】大学生生活に役立つ敬語・日本語～留学生の視点から日本語を考える～国際共修ゼミ-						
Object and Summary of Class	<p>この授業の目的は3点あります。</p> <p>1つ目は、大学生生活や就職活動に役立つ敬語や、留学生・日本人学生が興味・関心のある日本語を、留学生の国の言語と比較しながら調べ、日本語と他言語に対する知識・理解を深めることです。</p> <p>2つ目は、国立国語研究所開発等の「コーパス」※を活用して言語を分析し、ドラマ・アニメなどの「マルチメディア」等を活用して効果的に発表する技能を身につけることです。</p> <p>3つ目は、外国人留学生とのグループワークやディスカッションを通して、留学生の視点に立って日本語を外から捉え、他言語に関心を持ち尊重する態度を身につけることです。</p> <p>※「コーパス」とは言語研究に使用可能な電子化された言語テキストの集合体のことで、調べたい言葉の実例を瞬時に、時には大量に一覧形式で得ることが可能です。</p>						
Goal of Study	<p>1)大学生生活に役立つ敬語、興味・関心のある日本語や、他言語に対する知識・理解を深める(知識・理解)</p> <p>2)「コーパス」で言語を分析し、Webアンケートや「マルチメディア」を活用して発表する(技能・技術)</p> <p>3)留学生とのディスカッションを通して日本語を外から捉え、他言語に関心を持ち尊重する(態度・関心)</p>						
Contents and Progress Schedule of the Class	<p>【授業内容】</p> <p>この授業は第1ラウンドと第2ラウンドの2つの内容で構成されます。</p> <p>第1ラウンドのテーマは「大学生生活に役立つ敬語」です。 日本語の敬語は体系的に発達しており、留学生には習得が難しい分野の一つです。 現代日本語の敬語は、実践的に学習する機会が少なく、日本人でも敬語を自信をもって使いこなすのは困難です。 誤用と知らずに使っていることも多く、「5種類の敬語」を体系的に学び、規範的知識を身につけることが重要です。 また、時代によって変化しているものもあり、「コーパス」を用いて「使用実態」を調べることも大切です。</p> <p>第2ラウンドのテーマは「大学生生活に役立つ日本語」です。 留学生・日本人学生が「興味・関心がある日本語」について、「コーパス」で調べ、受講者等にWebアンケートを行い、ドラマ・映画・アニメ・自作動画などの「マルチメディア」を活用して分析・発表をします。 課題となるテーマは、先生へのメールの敬語、就活に役立つ敬語、曖昧表現、若者言葉、SNS用語、役割語、オノマトペ(擬音語・擬態語)、方言などです。 これらは日本人学生と留学生が大学で交流・生活する際に役立つテーマです。 受講者の希望に合わせて課題を設定し、留学生・日本人学生の協働で分析・発表をします。</p> <p>【授業方法】</p> <p>・この授業は外国人留学生とのグループワークやディスカッション、クラス全体での意見交換を基に展開します。 ・Webアンケートを利用し、「興味・関心がある日本語」の課題設定への反映、発表への活用、意見交換の提示など、双方向授業を目指します。</p> <p>【進捗予定】</p> <p>第1回 ガイダンス/「敬語クイズにチャレンジ！」敬語の理解度をチェックしてみよう！ 留学生の知りたい日本語・気になる日本語は？ 第2回 「外から見た日本語」留学生の視点に立って日本語を外から見て考えよう！ 第3回 敬語発表のためのグループワークと「コーパス」を活用した日本語分析 第4回 敬語発表のためのグループワークと「興味・関心のある日本語」についての課題設定 第5～8回 敬語についての発表と留学生の視点からの意見交換 第9回 「興味・関心のある日本語」の発表のためのグループワーク 第10回 「マルチメディア」を活用した発表のためのグループワーク 第11～14回 「興味・関心のある日本語」の発表と留学生の視点からの意見交換 第15回 授業の振り返りとまとめ (※受講生の人数やニーズ・レディネスにより変更する可能性があります。)</p>						
Evaluation Method	・授業参加度(40%)、ミニレポート(30%)、発表(30%)						
Textbook and References	No	Title	Author	Publisher	Year	ISBN/ISSN	Classification
	1.	『敬語再入門』	菊地康人	講談社学術文庫	2010	<a href="https://www.kodansha.co.jp/book/9784062919845">978-4062919845</a>	教科書

<p>2. 『敬語』</p> <p>3. 『現代日本語文法7 談話・待遇表現』</p>	<p>菊地康人</p> <p>日本語記述文法研究会</p>	<p>講談社学術文庫</p> <p>くろしお出版</p>	<p>1997</p> <p>2009</p>	<p><a href="#">4061592688</a></p> <p><a href="#">978-4874244456</a></p>	<p>参考書</p> <p>参考書</p>
<p>URL</p>					
<p>Preparation and Review</p>	<p>・グループ発表等の準備のために授業時間外学習が必要な場合があります。</p> <p>・課題についてはメールやGoogle Meetなどで相談に応じます。</p>				
<p>Practical business</p>					
<p>Students must bring their own computers to class [Yes / No]</p>	<p>・不要です。</p>				
<p>Contact</p>					
<p>In Addition</p>	<p>・この授業は留学生と日本人学生の協働の「国際共修ゼミ」です。</p> <p>・「TGLプログラム」ポイント対象科目です。</p> <p>・ここでの「マルチメディア」とは、文字だけの「モノメディア」に対して画像・動画・音声等を指し、ドラマ・映画・ニュース・ドキュメンタリー・マンガ・アニメ・音楽や自作動画等も対象とします。</p> <p>・文系・理系を問わず、どの分野の学生も歓迎し、2年生以上の学生の受講も推奨します。</p> <p>【オンライン授業対応について】</p> <p>・Google Classroom, Google Meet等を活用したリアルタイム型のオンライン授業を実施します。クラスコードは「iizmuoy」です。</p> <p>・日本国外在住の外国人学生も対象にしたオンラインにおける国際共修授業ですので、円滑な授業展開と学生同士の交流促進のために、履修者数を調整することになりました。</p> <p>・初回授業での説明を基に簡単なアンケートを行い、エントリーした学生を対象に履修者数の調整を行います。履修を検討している人は初回の授業に参加してください。</p>				
<p>Last Update</p>	<p>2020/09/16 11:20</p>				